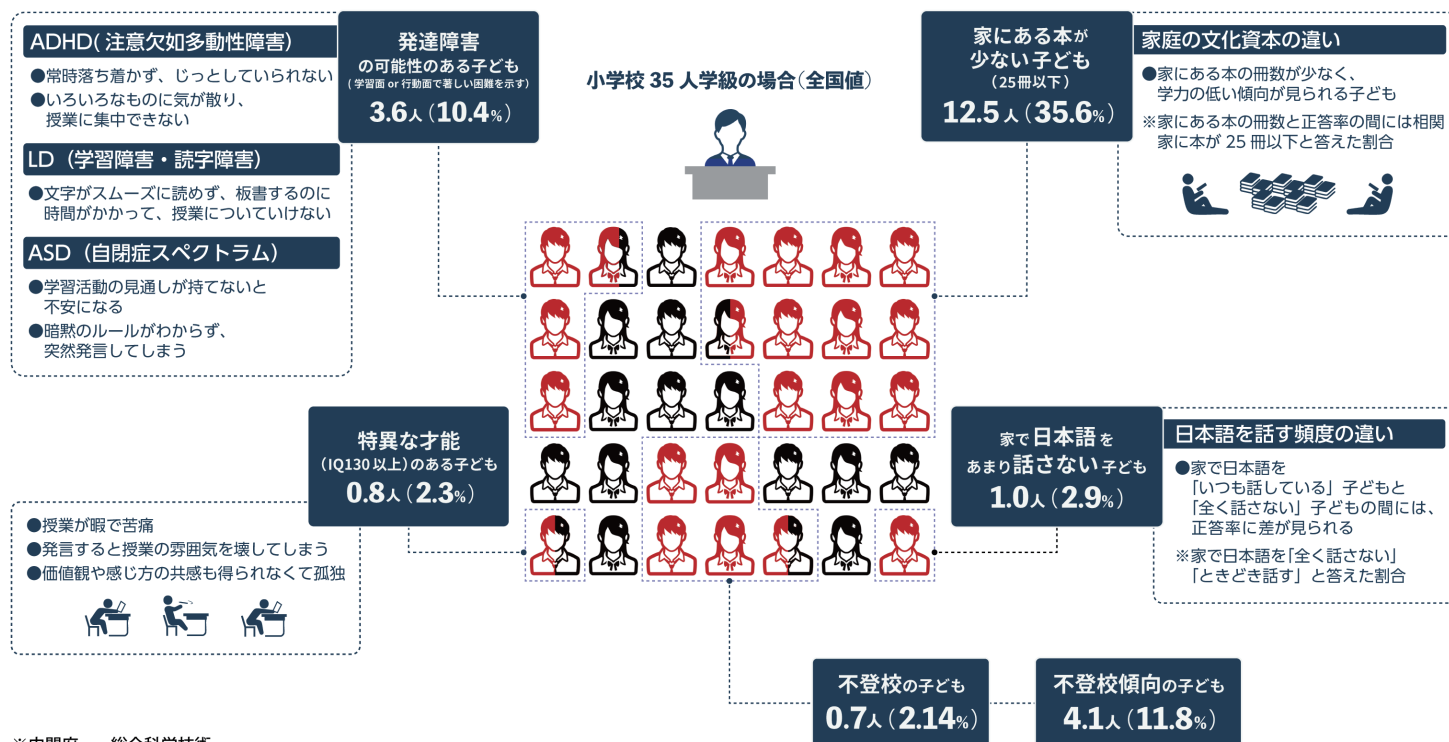




なぜ、いま学校教育を変えるの？

教室の中には多様な子どもが集まっています
「同じペースで 同じことを 同じ方法で」の教育は限界...



どのように学校教育を変えるの？

これからの時代に求められる3つの力

複雑で変化の激しい時代を生き抜くためには、この3つの力が不可欠になっていきます

自ら考える力

協力して行動する力

アイデアを生み出す力

これまでの学校教育では、教師による一斉に授業を受けるかたちが中心でした

授業で自分の考えを友だちと話し合う機会が少なく、人と違う視点や意見が「間違い」と見なされがちでした。その結果として、創造的な発想や個性が発揮されにくい環境が生まれてしまっていたのです。



教室にはさまざまな考え方、個性を持った子どもたちがいます

「みんな一緒に、同じことを、同じ方法で」学ぶことには限界が来ています。

これからは、自分の考えを持ち、互いに話し合いながら、学び方を工夫して学習することが重要です。本市では、子どもたちの未来のために「自ら考え」「協力して行動し」「アイデアを生み出す」3つの力を育てていきたいと考えています。

自分で考え、

他者と協働し、未来を創る

私たちの未来を真剣に考えてくれるまち

古河市の学校教育を変えます

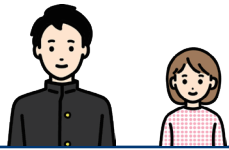


古河市教育委員会 教育総務課 教育政策室
〒306-8601 茨城県古河市長谷町 38-18 TEL:0280-22-5111 (代表)

令和7年11月1日発行



古河市の学校教育を変えます



古河市の未来を担う子どもたちが健やかに成長し、豊かな人生を送るためには、私たち大人が子どもたちの「未来」を共有し、学校教育を変えていく必要があります。「自分で考え、他者と協働し、未来を創る」古河市はそのような学校教育を目指します。



① 学びを変える

「そろえる」教育から「伸ばす」教育へ

これからの子どもたちに必要な力は、一言でいうと「考える力」です。「考える力」を育てるためには、「自分で問いを立て、友だちと相談し、よりよいものを創り出す」経験が必要です。

「そろえる」教育



みんな同じことを同じ方法で
学ぶことができる

「伸ばす」教育



みんなで解き方やアイデアを
出し合い理解を深める

本市では、1人1台端末環境で、ICT機器を効果的に活用しながら、子どもたちの「考える力」を伸ばす教育を行っています。

誰一人取り残されない居場所づくり

校内教育支援センターを中学校全校に設置

◆ 校内教育支援センター

「教室に行くことが難しい」子どもたちのための教室以外で過ごせる場所

「特別支援教育支援員」47名配置

◆ 特別支援教育支援員

特別な支援が必要な子どもたちを支援する職員

市教育支援センターを3箇所設置

◆ 市教育支援センター

学校心のアドバイザー・学校心の相談員が不登校児童生徒を個別に支援

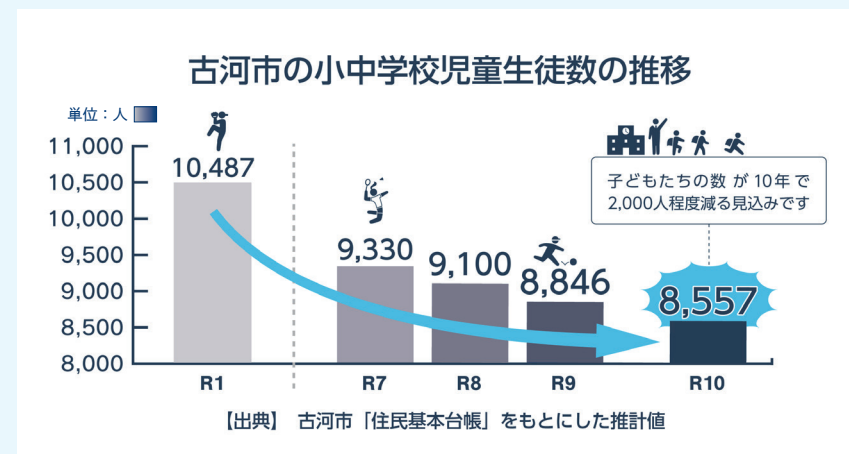
今後も、子どもたちが安心して学校に通い、自らの力を存分に発揮できるよう、誰一人取り残されない居場所づくりを推進していきます。



② 学校を変える

一緒に学ぶ仲間を増やす 学校再編

子どもたちの数が減少傾向にある中で、いろいろな人との関わりの場を確保するために、学校再編が必要です。



本市では、令和7年度中に、市内小中学校の適正規模・適正配置の「基本方針」を策定し、地域の方々と懇談会を実施します。その後、学校再編計画を進める中で、子どもたちの交流の機会を増やし、コミュニケーション能力の向上とグループ活動の活性化を目指していきます。



① 社会性やコミュニケーション能力が高まる

② 交流が増え、グループ活動が活性化

学校再編は、子どもたちが質の高い教育を受けられる環境を整え、教育の充実と地域の活性化を図ることを目的としています。今後、子どもたちの未来をよりよいものにするために、地域の方々の意見を聞く機会を設け、学校再編を進めていきます。

③ 地域との関わりを変える

学校部活動の地域展開

子どもたちの数が減少傾向にある中で、学校の部活動の存続が難しくなっています。これからは、子どもたちの「やってみたい」を応援するために、学校の枠を越えた「地域クラブ活動」の設立が必要です。



部活動の地域展開

- ① 専門性のある指導者からの指導
- ② 多様な体験、いろいろな世代の人との交流

令和6年8月からサッカー、令和7年7月から野球について、地域クラブ活動を試験的に実施しています。本市では、今後、休日の部活動を、全て地域クラブ活動として展開していきます。

学校・保護者・地域 みんなが先生

コミュニティ・スクールを小中学校全校に導入

「地域学校協働活動」の活性化

本市では、「地域の子どもは地域で育てる」という理念の下、学校・家庭・地域みんなが先生となり、地域全体が学びのフィールドとなる「コミュニティ・スクール」を導入し、伴走支援を行っています。



今後も、見守り活動やゲストティーチャーなどの「地域学校協働活動」を活性化し、学校と地域の関わりをさらに充実させていきます。